

UEC 基金たより

vol.20 2023年6月発行



電気通信大学

理事(経営・広報戦略担当) 大家 万明



平素より、電気通信大学が進める研究教育活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年4月に本学理事(経営・広報戦略担当)に就任以来1年間、皆様からの温かいご支援に支えられましたこと、感謝の念に堪えません。新たな年度を迎え、今年度も大学の発展のため業務に取り組んで参ります。引き続きご支援お願い申し上げます。

この度は、令和4年度の大学基金の活動状況を皆様にご報告させていただきます。

昨年度、本学基金へは、皆様より約2,500万円のご支援をいただきました。本学の基本的な基金(UEC基金、学資支援基金、若手研究者未来基金)をはじめ、昨年7月に立ち上げた「UECウクライナ等国際的人道支援基金」や、「アメフト部活動支援」「U.E.C.wings活動支援」といった特定目的の活動に対するご支援を頂戴しました。

特定目的以外の寄附金は、主に次の支援に対して活用させていただきました。

- 1)奨学金(学域1年生から博士後期課程が授与対象)
- 2)大学生協で利用できる食事券の配付(経済的困窮度の高い者を対象)
- 3)学会参加費及び海外渡航支援

トータルの拠出額は、全体で寄附金とおおよそ同額の約2,500万円でした。このように支援を必要とする学生に対する経済的なサポートが実施できたことは、皆様からの温かいお心使いの賜と改めて御礼申し上げます。

(裏面に「学生から寄せられた喜びの声」を掲載しております。)

今年度の基金に関する新しい取り組みを1つご紹介させていただきます。

本学では、国内外の情報通信技術の発展において、歴史的にも価値のある貴重な収蔵品を多数展示する「UECコミュニケーションミュージアム」を有しております。年度当初に本ミュージアムの持続的保全と次世代への伝承のため「UECコミュニケーションミュージアム基金」を立ち上げ、大学のホームページにおいて、ご案内させていただきました。すでに基金の趣旨にご賛同いただいた同窓生の方々からご支援をいただいておりますが、今回、改めてご案内させていただきましたので、是非ご協力をお願いできれば幸いです。

国立大学を取り巻く財政的な状況は厳しさを増し、自助努力による財源の確保が求められております。本学の発展が、卒業生・修了生各位からの応援はもとより、様々なお立場のステークホルダーの皆様からの温かく力強いご支援の上にあることは申すまでもございません。今後もより一層のお力添えを賜りたく、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

学生から寄せられた喜びの声

電気通信大学基金から支援を受けた学生から、たくさんの感謝の声が寄せられました。その一部ですが、以下ご紹介させていただきます。

【奨学金を授与いただき、ありがとうございました。】

<情報理工学域 2年>

両親には現在も金銭的に援助して頂いており、奨学金で両親の負担を少しでも減らせることが非常に嬉しいです。これからも奨学金授与生として気を弛めることなく学習及び大学の活動への協力を続けていきます。

<情報理工学研究科 博士後期課程2年>

この度は、UEC奨学金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。今後も一層研究に励み、研究成果および博士号取得という形で電気通信大学に貢献できるよう精進して参ります。

【食事券のご支援、ありがとうございました。】

<情報理工学研究科 博士前期課程 2年>

この度は食事券をいただき、誠にありがとうございます。コロナ禍の影響で家計が悪化するなか、欠かせない食費のサポートは大変助かりました。ひとえに学資支援募金をしてくださった方々の恩恵です。皆様の薫陶を受けて、さらに勉学に励んでいきます。

<情報理工学研究科 博士前期課程 2年>

寄附をしていただき本当にありがとうございます。研究の日々に明け暮れる私としては、学食で健康バランスを考えた食事を取ろうと考える余裕ができることはとてもありがたいことです。私は今年で修了し大学を去る身ではありますが、最後まで感謝を忘れずに学業に励まさせていただきます。今後も学びに勤しむ後輩たちにご支援いただけますよう謹んでお願い申し上げます。

【学会参加費及び海外渡航のご支援、ありがとうございました。】

<情報理工学研究科 博士前期課程2年>

私は、ポルトガルで開催されたエージェントと人工知能に関する国際会議に参加しました。それまでに培ってきた自分の力をぶつけることができた最高の舞台でした。多くの人に発表を聞いていただき理解していただけたことにより、自分の研究への自信を深めることができました。このような経験を生み出してくれた今回の海外渡航に対してのUEC基金からの経済的支援に心から感謝申し上げます。

<情報理工学域 4年>

アメリカでは物価上昇と円安の影響が大きく、経済的に苦しい渡航期間でした。しかし、UEC基金の支援をいただいたおかげで、充実したインターンシップをビザに定められた最終日まで行うことができ、無事に帰国できました。この度は誠にありがとうございました。海外で挑戦をする学生に向け、今後とも支援を続けていただければ幸いです。

<< インターネットによるご寄附のお申込は、こちらのQRコードをご利用ください >>

ご寄附お申込みフォーム

基金についての最新情報はWebをご覧ください。
<http://www.uec.ac.jp/kikin/>



●< 同封の払込取扱票>を用いてUECコミュニケーションミュージアム基金へご寄附いただく場合は、「使途を特定」にチェック☑の上、()内に「ミュージアム基金」とご記入ください。